AXX-700 施工説明書

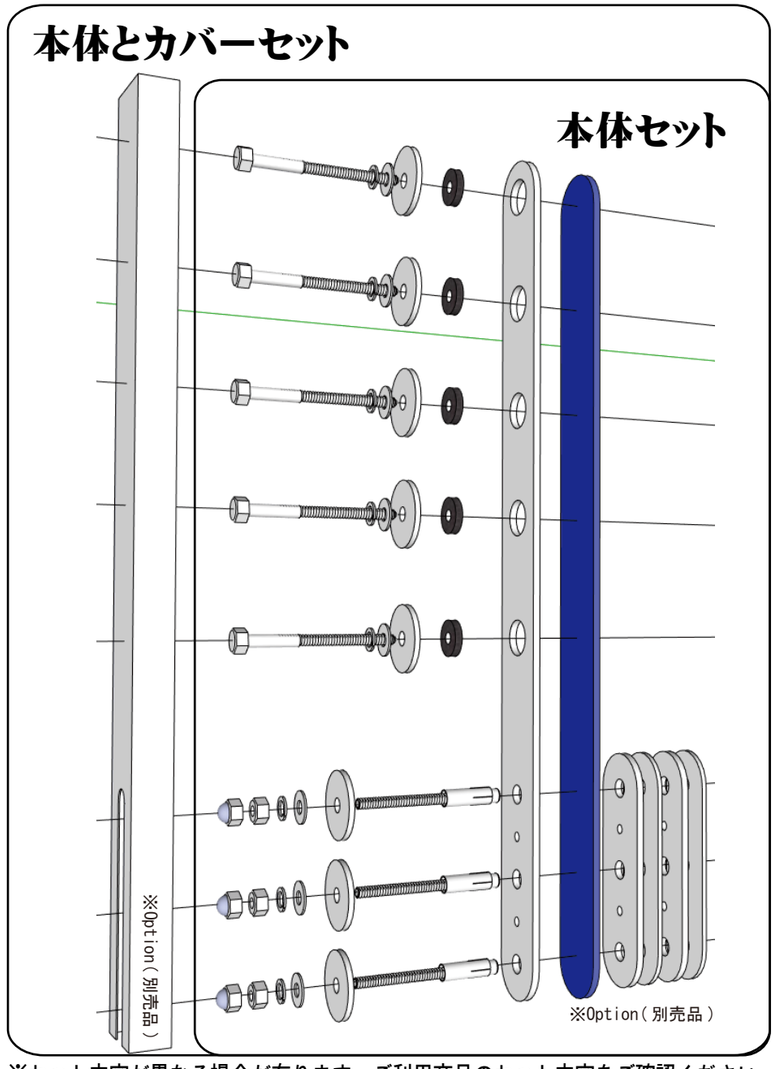
International ,synapse company.

⚠ 製品取付・施工前に全項目を必ずご確認下さい。

⚠ 箱開封後、すぐに製品と付属品をご確認下さい。

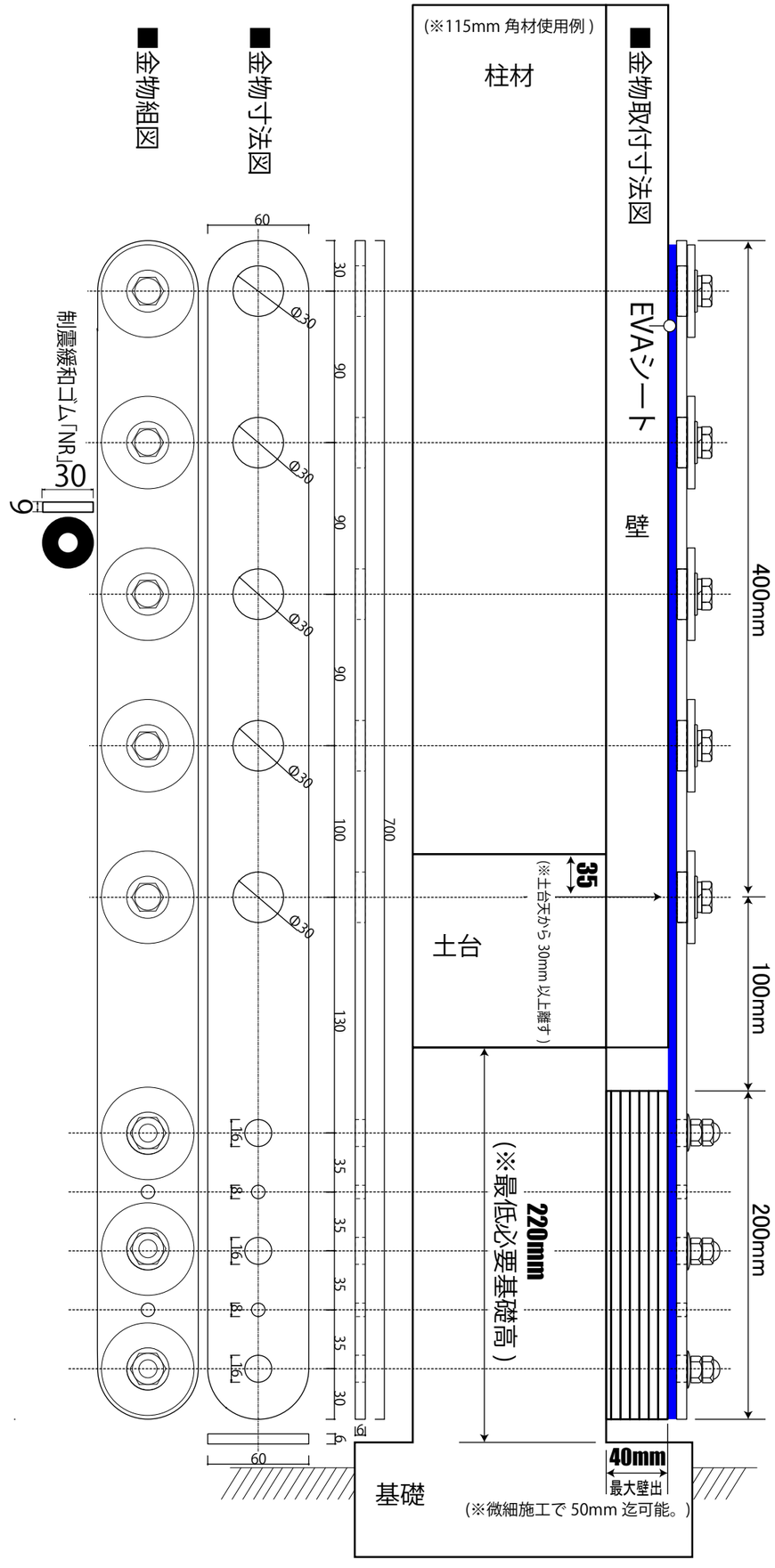
グッド・デザイン賞　ノミネート製品

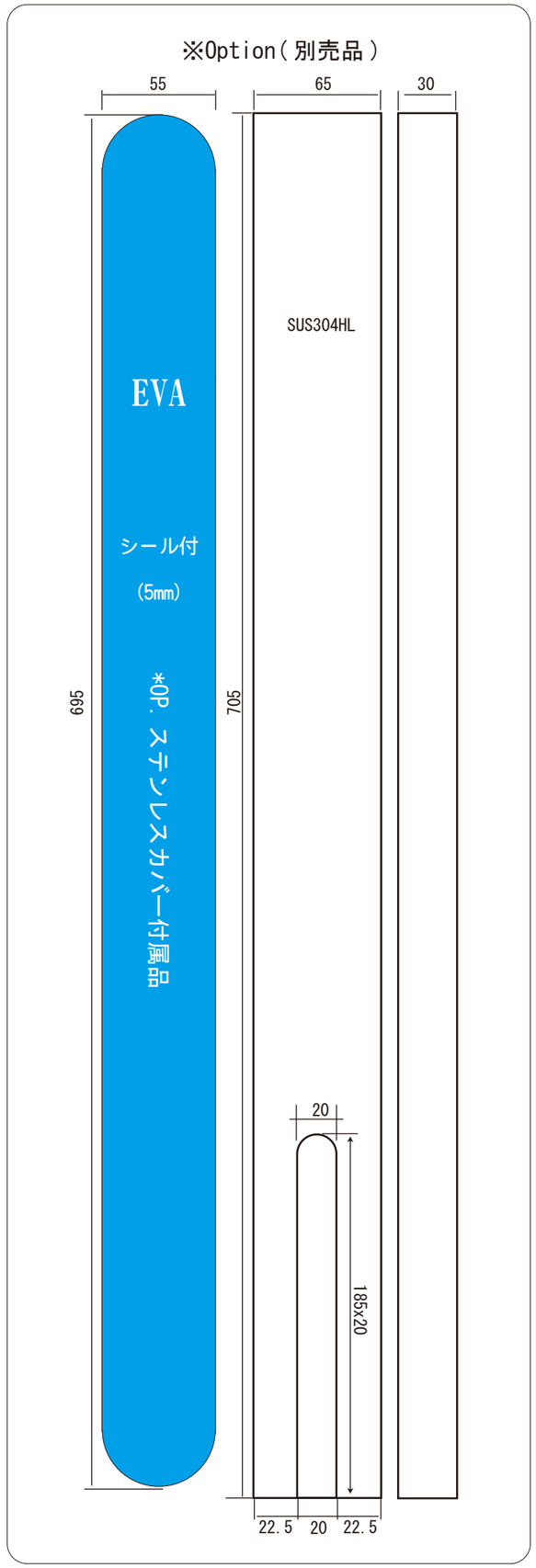
本体とカバーセット



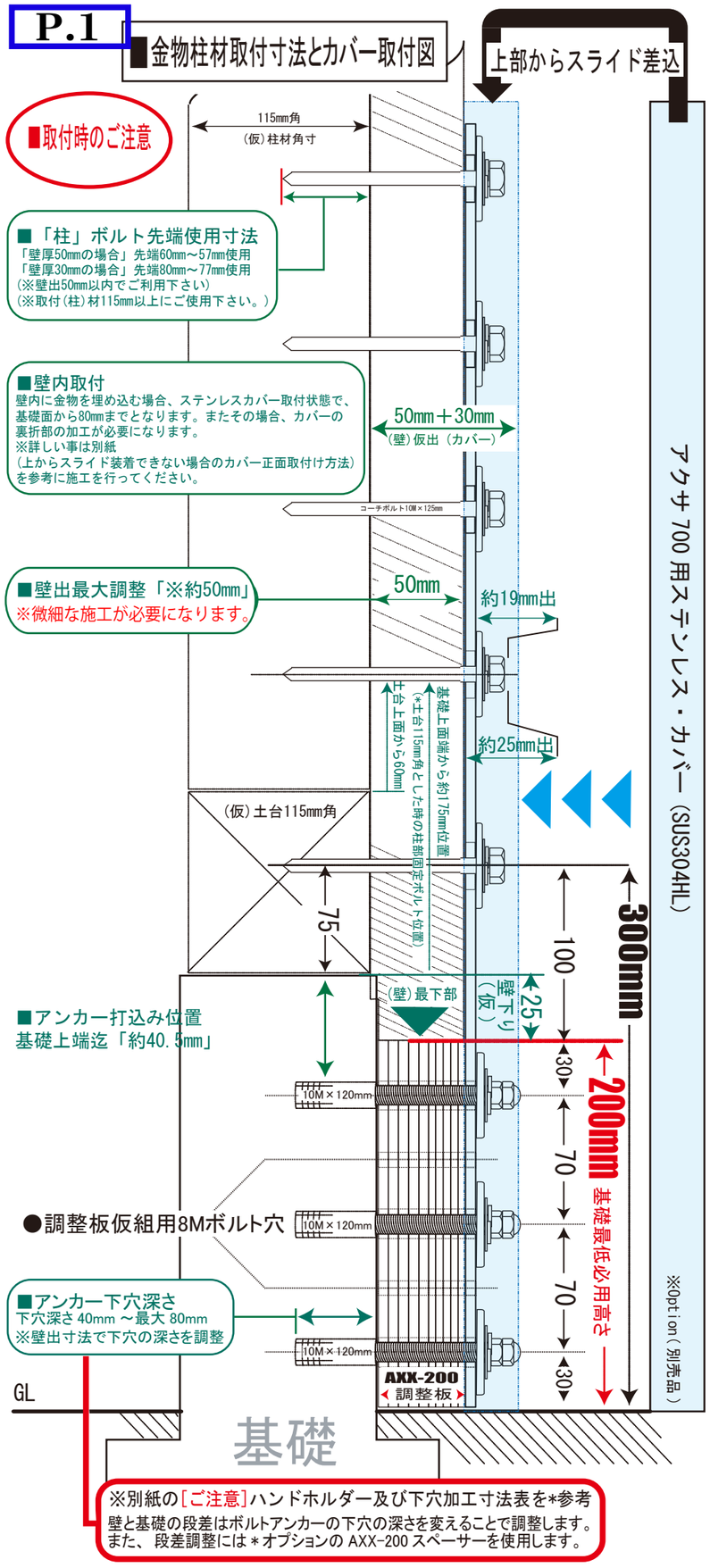
※セット内容が異なる場合が有ります。ご利用商品のセット内容をご確認ください。

URL：http://www.synapsejp.com
mail：synapse.international@synapsejp.com





■金物柱材取付寸法とカバー取付図

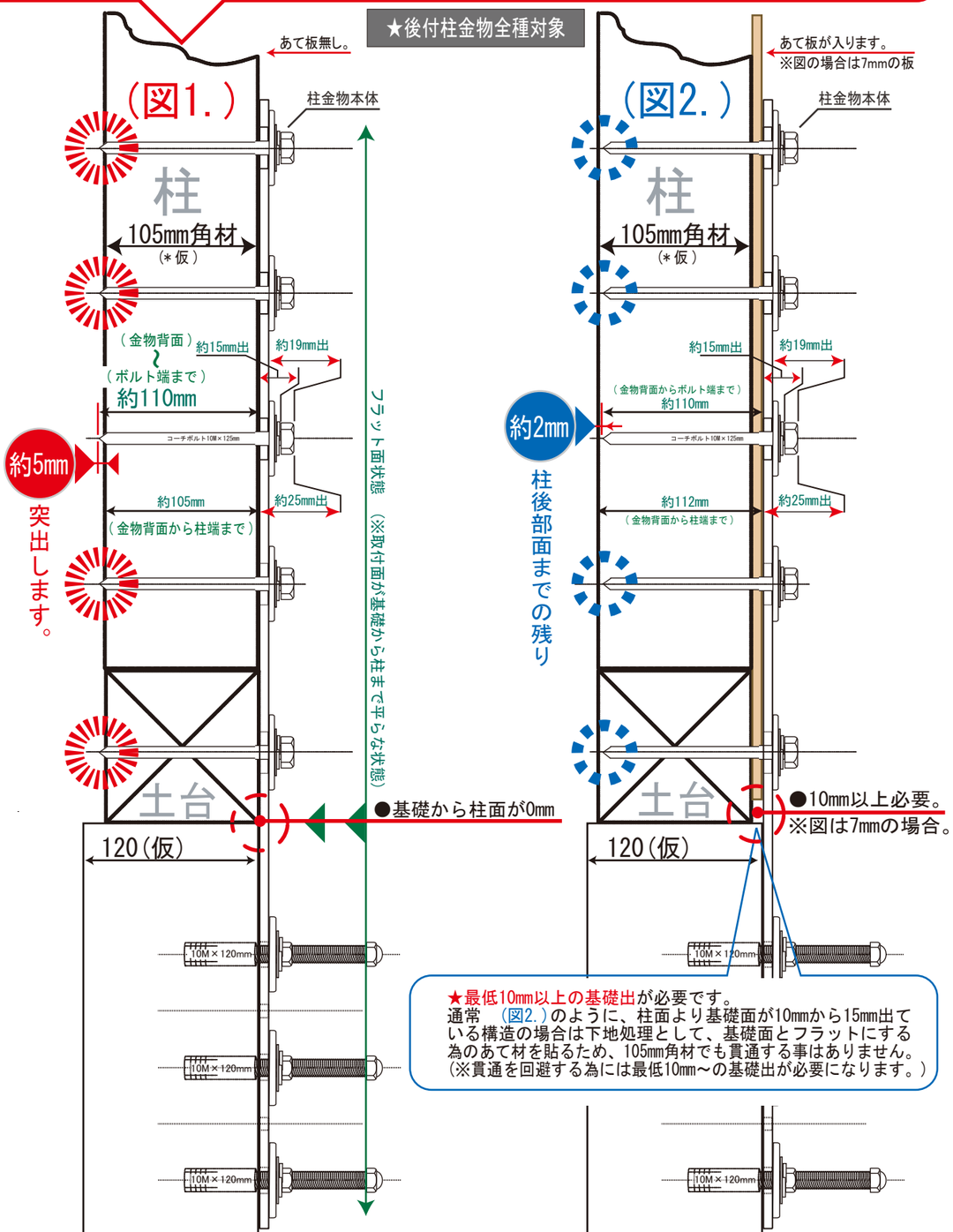


※別紙の[ご注意]ハンドホルダー及び下穴加工寸法表を*参考
壁と基礎の段差はボルトアンカーの下穴の深さを変えることで調整します。
また、段差調整には＊オプションの AXX-200 スペーサーを使用します。

◆105mm角以内の柱材に「後付柱金物」を直接取付ける場合、下記の点にご注意下さい。

（図1.）のような、柱面と基礎面がフラットに造られた補強箇所の105mm角材にコーチボルト（長さ125mm）を直接使用しますと、ボルト先端が約5mm柱面より突き出てしまいます。この場合の対処法として、予め弊社にご連絡の上、長さ調整用のワッシャーを、必要厚みご指定の上ご購入下さい。（金物の使用が内部仕様前提になります。）もしくは、コーチボルト先端を15mm程度カットしてご使用下さい。（※建物内部の壁補修工事が有る場合は、建物内部の壁を大壁にして隠す方法もあります。）

★後付柱金物全種対象



★最低10mm以上の基礎出が必要です。
通常 （図2.）のように、柱面より基礎面が10mmから15mm出ている構造の場合は下地処理として、基礎面とフラットにする為のあて材を貼るため、105mm角材でも貫通する事はありません。
（※貫通を回避する為には最低10mm～の基礎出が必要になります。）

モルタルで補強金物箇所を仕上る場合は、金物に直接モルタルを塗付けないようご注意ください。
本体全体を保護するシート材等で被った上にラス処理後モルタルで仕上て下さい。

■施工工具・道具類・その他使用部材
（※施工当日前に現場・施工書等確認の上、必要な物をご用意下さい。）

- ●インパクトレンチ(木部ボルト締)
- ●電動ドライバー(木部穴空け)
- ●ハンマードリル(コンクリート)
- ●電気ドリル(鉄材作業用)
- ●エアーシステム(エアーガン/コンプレッサー/ブロアー)
- ●サンダー(カッター各種)
- ●電源延長ケーブル三口5m以上
- ●10M用ハンドホルダー(ストレートタイプ)
- ※販売店にあまり置いていませんので事前に用意。
- ●メガネレンチ17M 又はボックス・レンチ
- ●＋/－ドライバー●ハンマー大/小●作業灯
- ●バール/スコップ(基礎下堀・その他用)
- ●木工用ドリル(5.5M・6M・7M)(コーチボルト用) ※ロングとショート
- ●コンクリート・ドリル(8M・10.5M・14.5M・15M)(ボルトアンカー/他用)
- ●モンキー250mm・スパナ類・プライヤー ●カッター
- ●手鏡(通風孔からの土台その他状況確認用)
- ●外壁用コーキング(塗装可能品色・アイボリー/白/他)
- ●防腐剤/防蟻剤(木・加工部)
- ●補修セメント(アンカー孔・ハツリ・その他補修用)
- ●電工ビニールテープ・赤(ドリル深さマーク用)
- ●間柱センサー(有る場合でOK)
- ●CRC防錆材(ネジかじり・ゆるめ/製品鉄部仕上げ/他)
- ●シンナー(ステンレス材面清掃・コーキング処理・その他)
- ●ウエス・布(汚れ取・清掃・その他)
- ●マジック(黒/赤) (中/太)
- ●養生シート(製品置き場/足場/ケミカルたれ/施工周囲保護/その他)
- ●防塵マスク
- ●垂木(各種サイズ)
- ●スケール・垂直スケール・さげふり
- ●カメラ(施工前/後の記録・提出用等)
- ●安全ゴーグル・ヘルメット
- ●細作業用手袋/軍手/皮手袋
- ●ほうき・ちりとり・ごみ袋

※家屋状況・現場によりましては、記載項目以外の工具・道具・部材その他材料が必要となる場合が有りますので、事前の調査を行い準備して下さい。

※補強金物性能を100%活かす為に必ずお守りください。

■施工時の注意点

■アンカー施工時の注意事項
●施工時には必ず安全メガネ、ヘルメット等保護具を着用する。
●ブロアーは十分に行う。切粉が残っていると十分にアンカー先端が開かず、固定強度不足になります。
●ハンマーはアンカーに応じた適切なものをご用意ください。
※異常に対する処理
AXX本体及び部材・アンカー等の本体形状不良による取付不可、及び挿入不可。
アンカー本体の損傷、又、AXX本体、部品不良等の異常が発生した場合は、購入先または弊社までご連絡ください。

◆取扱上のご注意

※重い金物です、手や足その他に落とさないよう持ち運び取扱等には十分にご注意下さい。
※本製品の加工部と形状、駆動箇所でケガなどしないよう取扱いには十分に御注意下さい。
※本製品は、家屋補強用を目的とした柱及び材結束/引抜け防止用金物です。その他の用途 には絶対に使用しないで下さい。

■安全に関する注意事項
金属片、コンクリート片が飛散し失明などの危険がありますのでヘルメット、安全眼鏡等の保護具は必ず着用の上作業してください。
■警告
施工説明書で指示されている以外の施工方法及び条件で施工されますと人身に対する危険、及びコーチボルト、アンカー性能低下による重大事故につながる恐れがありますので、安全に関する注意事項及び施工方法を全て
厳守してください。
■品質管理には万全を期しておりますが、万一不良品欠品等がございましたら、製造元又は、ご購入先にご連絡ください。
■穴加工のコツと障害物対処方法
●鉄筋に当たった時は、同径の鉄鋼ドリルか超硬ドリルを使い、潤滑油(CRC)で冷やしながら低速・単発回転させながら貫通させます。
コンクリートドリルで強引に作業を進めると、ドリルを傷めてしまったり穴位置がずれるてしまう可能性が出てきます。又、仮に貫通したとしても鉄筋が完全に取除かれない為、アンカーが入らない場合やスリーブが完全に開かず、本来の固定力が発揮できない不完全施工になってしまいます。
●基礎内部の玉石に当たった場合、歯が進まないため金属に当たったように勘違いする場合があります、その時は磁石を使い確認して下さい。
対処法として、細いコンクリートドリルで貫通させ、径を大きくして行きます。
※指定の施工方法をお守り下さい。 ボルトアンカーの引抜けや、 固定耐力不足で本来の性能を発揮出来ない可能性が出てきます。

http://www.synapsejp.com/
シナプス・インターナショナル Compani

■AXX-700■ 施工説明・取付手順

◎ステンレスカバー仕様は別紙「A・B」AXX-700 説明書も参照下さい。

SYNAPSE・INTERNATIONAL.COMPANY.

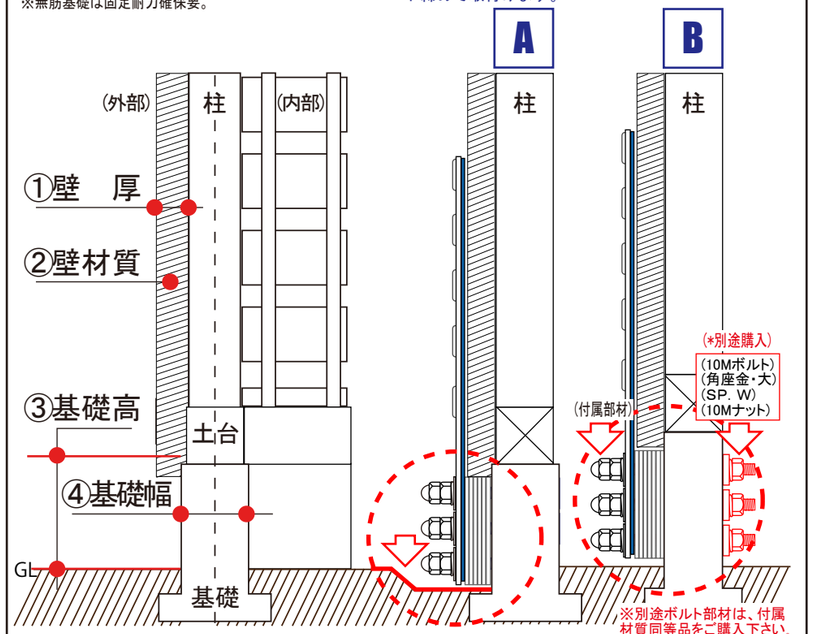
1. AXX700取付箇所「壁面」「基礎」条件 (※柱材参考110mm角)

①壁厚(1cm～4cm)以内
②壁材質(表面材質耐力1.0以上の壁)
③基礎高(25cm)(最低高さ22cm～※注)
※注)土台固定ボルト位置ズレにご注意下さい。
④基礎幅(10cm)以上
(*有筋基礎コンクリート強度21N/mm²(210kgf/Cm²))
※無筋基礎は固定耐力確保要。

■例外A.B.取付と施工法

A.基礎高さが不足している場合は、基礎下を掘下げて取付。施工後、基礎金物部の水没対策を行って下さい。

B.基礎幅100mm以内でボルトアンカー下穴が貫通する場合は、別途部材を購入し通しボルトで裏と表からナット締めで取付けます。



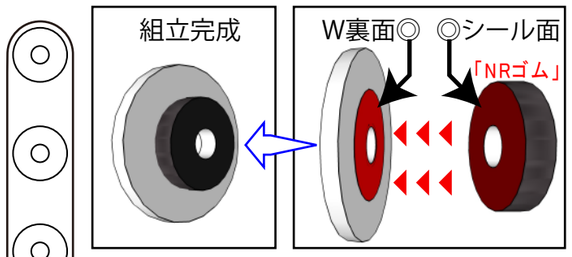
2. 本体組立・制震構造組立

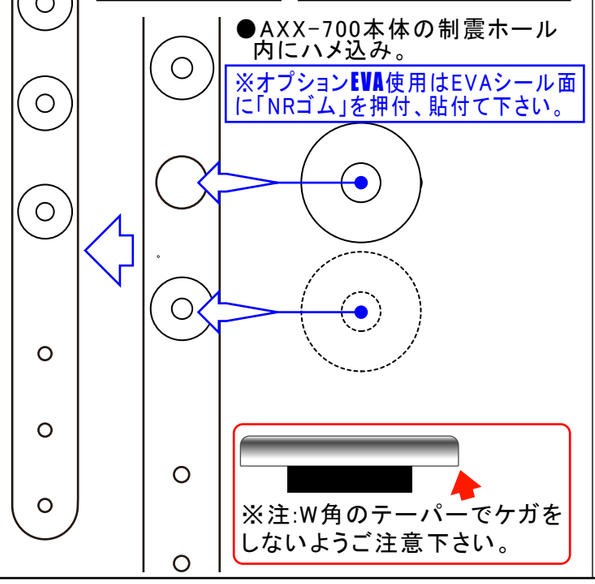
■オプション
〈ステンレス・カバー使用の場合〉

(EVAシート本体裏貼付と前加工)

①制震サイクル構造の組立
●使用部材「AXX-700本体」「W」「制震ゴム」

※ゴムとWの「◎」中心に合わせ貼りつけて下さい。





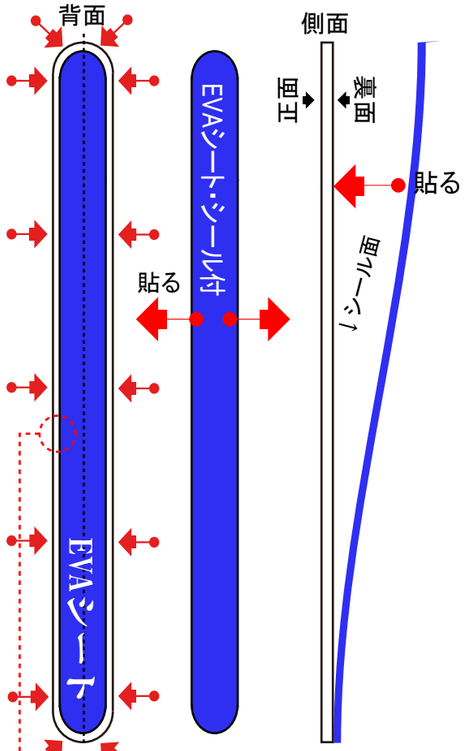
●AXX-700本体の制震ホール内にハメ込み。

※オプションEVA使用はEVAシール面に「NRゴム」を押付、貼付て下さい。

※注:W角のテーパーでケガをしないようご注意下さい。

■オプション〈ステンレスカバー使用の場合〉

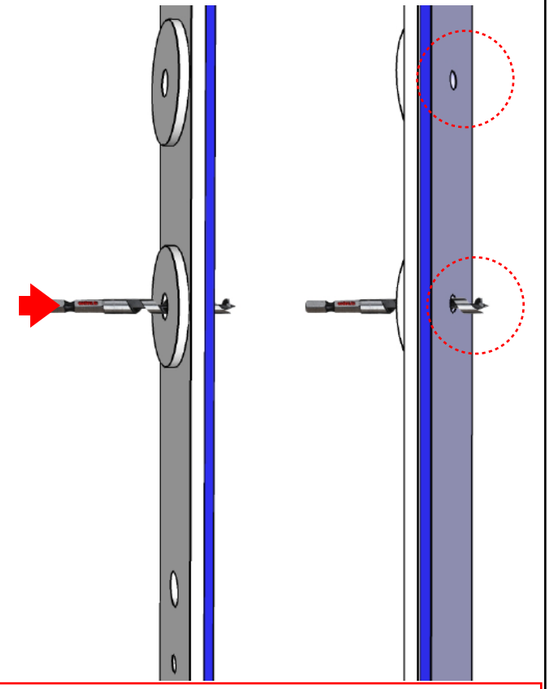
②EVAをAXX-700裏面センターに貼る。
●使用部材「AXX-700本体」「EVAシート」



※注):周囲の空きを均等に貼付ける。
※調整板仕様時もEVAを使用。

③背面EVAシートの8M穴開け
●使用部材「木エキリ8M」

◎全ての穴、制震ホール内 EVA を「木エキリ 8M」で穴を開ける。



※注:ボルト軸の防水効果が失われる為、8M以上のドリルは使用しないで下さい。
◎次の場所にはEVAシートは使用はできません。
・壁と基礎に段差がある面。※EVAシートでスキマ調整はできません。

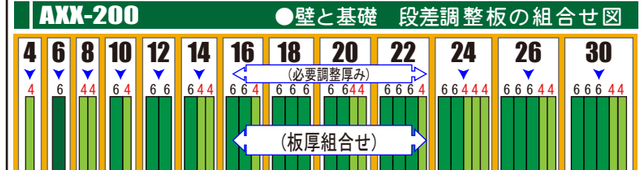
3. ■基礎面から壁が出ている場合。
AXX-200(調整板?mm)枚数決定と確認方法。

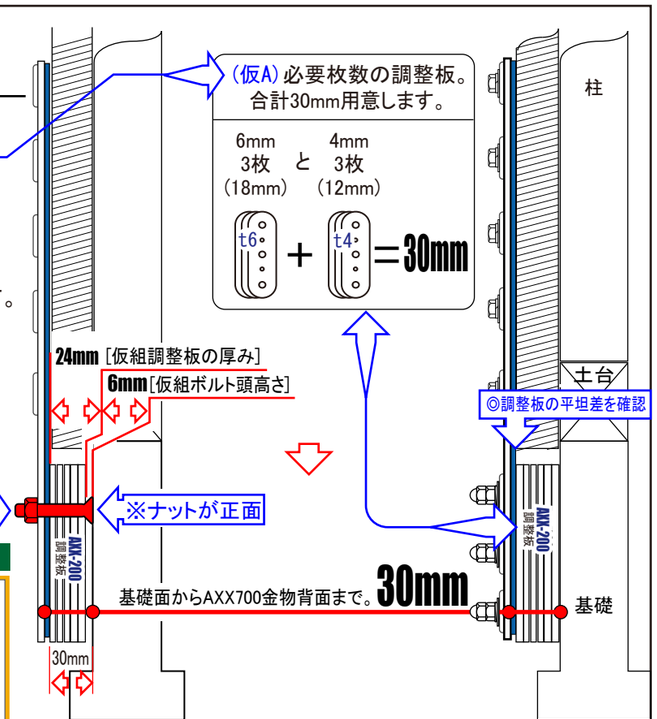
①(仮)に[*調整板が30mm]必要と「仮定」して説明します。
調整板の板厚4mmと6mmで30mm分の(仮A)枚数を揃えます。
次に、②の方法で取付箇所にあてがい調整厚を確認します。

②仮組用ボルトを使い、AXX700本体とAXX200調整板を仮組します。　その際、仮組用ボルト頭の高さが6mmあるので調整板6mmを1枚外し24mmにします。
[24mm分の調整板(t6×2枚/t4×3枚)をAXX700に仮組]します。

●調整板　仮組用ボルト　6mm

t6 1枚 + t6 + t4 = 24mm + t6 = 30mm





4. 土台穴位置出し
(本体全箇所位置決め用)

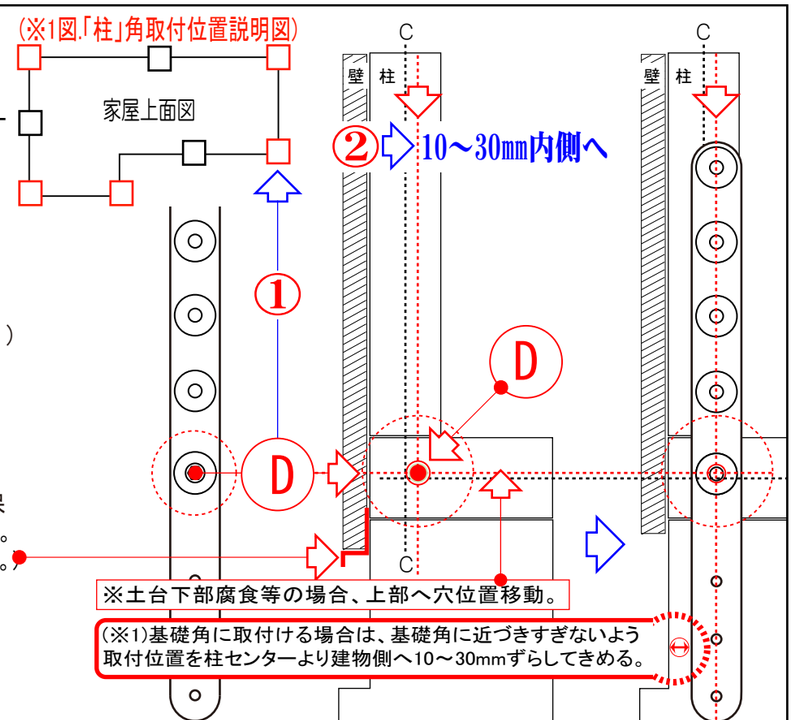
①AXX700本体の土台穴(D)と土台(D)を合わせ、周囲に障害なく取付が可能かを確認する。

●土台底面から上(30～70mm)の範囲にボルト位置。(※土台腐蝕が有る場合を除く。)

●建物の角に取付ける場合(※1図)
(※左右に壁がある柱はセンター取付基本。)

②柱角寸中央から建物内10mm～30mmの位置に金物取付位置を決める。
(※110mm角材以上の場合。)

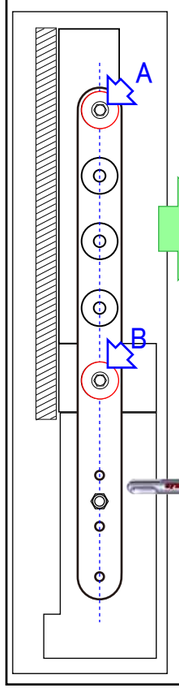
●水切り、壁下がり等で土台ボルト位置が確保できない場合は、取付に障害になる範囲を取除く。
(※加工箇所は、錆・防水等の補修を行って下さい。)

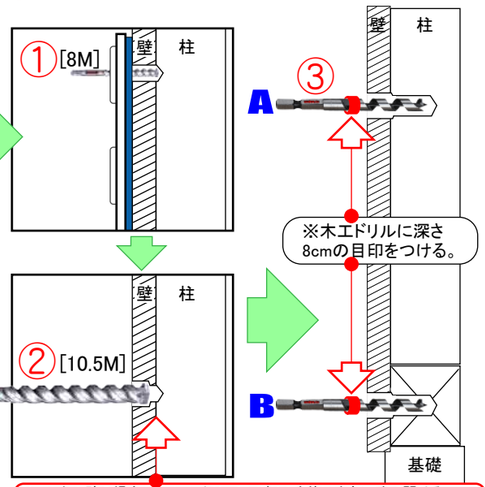


5. AXX700「仮」取付用穴加工「柱」上部Aと「土台」B穴開け。

●使用部材「コンクリート・ドリル8M/10.5M」
「木エドリル5.5M～6M　※ロング」

①本体を柱取付位置に合せ、A・B位置をコンクリートドリル8Mで壁厚分だけ下穴を開ける。
②本体外し10.5Mコンクリートドリルで A・B拡張、取除く。
③木エドリル5.5M～6MでA・B深さ80mmの下穴を開ける。





※モルタル壁の場合10.5Mコンクリート用ドリルを使い木部面まで開ける。
※制震効果を保つ為、10.5～11M以内のドリル径をご使用ください。

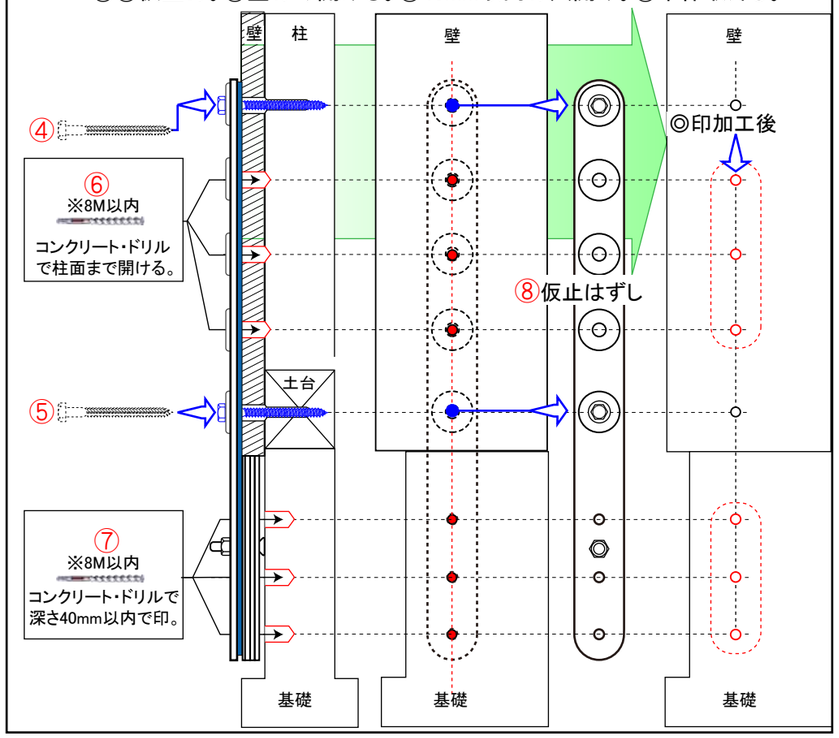
※注:土台材に固定力が不足している場合は、下穴深さを浅めに開け、また木エドリルは5M～5.5M以内を使用し、固定耐力を確保して下さい。

6.「仮」取付と下穴位置加工。

●壁部穴開け(モルタル除去)
●基礎下穴印

●使用部材「コンクリート・ドリル8M」「10M×125mmコーチボルト2本」「17Mソケット」

④⑤仮止め。⑥壁のみ開ける。⑦40mm以内の穴開け。⑧本体取外し。

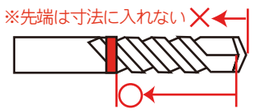


7. 木部・基礎　取付用穴加工概要。(次8.参照)

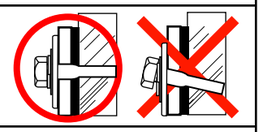
※モルタル壁の場合

●使用部材「木エドリル5.5M～6M」「コンクリート10.5～11M/14.5M」

●穴加工上の注意。



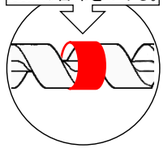
●斜穴開け注意



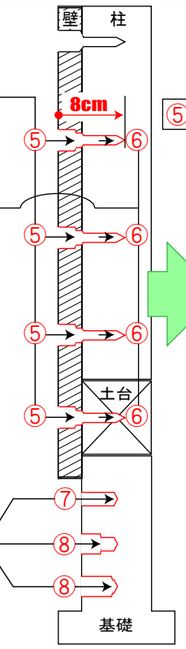
⑤「壁」下穴拡大加工
(コンクリート・ドリル「10.5M～11M」使用。)
※注:壁穴12M以上使用禁止。制震性能が低下します。

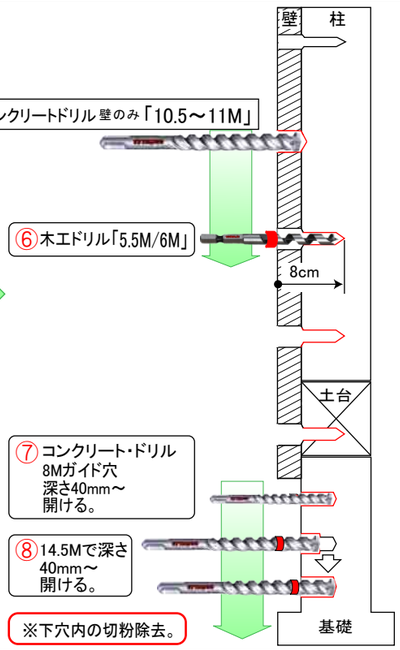
⑥「柱」下穴加工
(木エキリ「5.5M～6.0M」)

※木エドリルに深さ8cmの目印をつける。



⑦「基礎」下穴加工　8M ガイド穴
⑧「基礎」下穴加工　14.5M



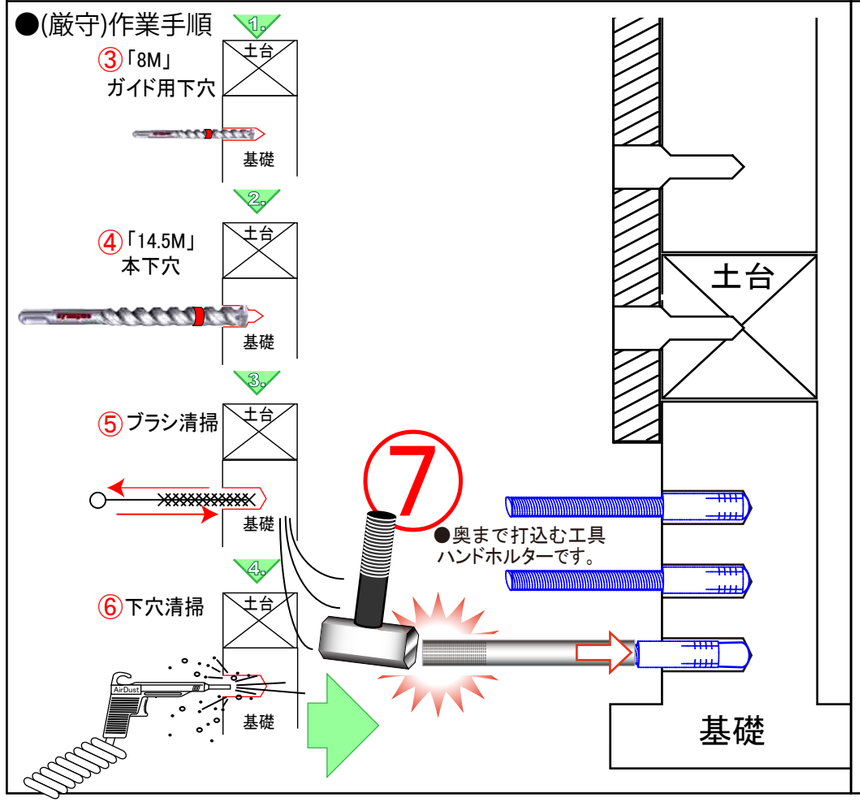


※取付壁のご注意。壁と柱材の間に空洞が有る構造壁(サイディング壁・材集合施工壁・その他柱と壁全体が密着していない構造壁)　著しく面耐力を損なっている外壁への取付は行わないで下さい。取付壁面がモルタル・一体構造壁等で、金物取付で壁が変形したり潰れたりしない壁面を対象に取付けてください。

8.「基礎」下穴加工(厳守)作業手順とアンカー打込み。

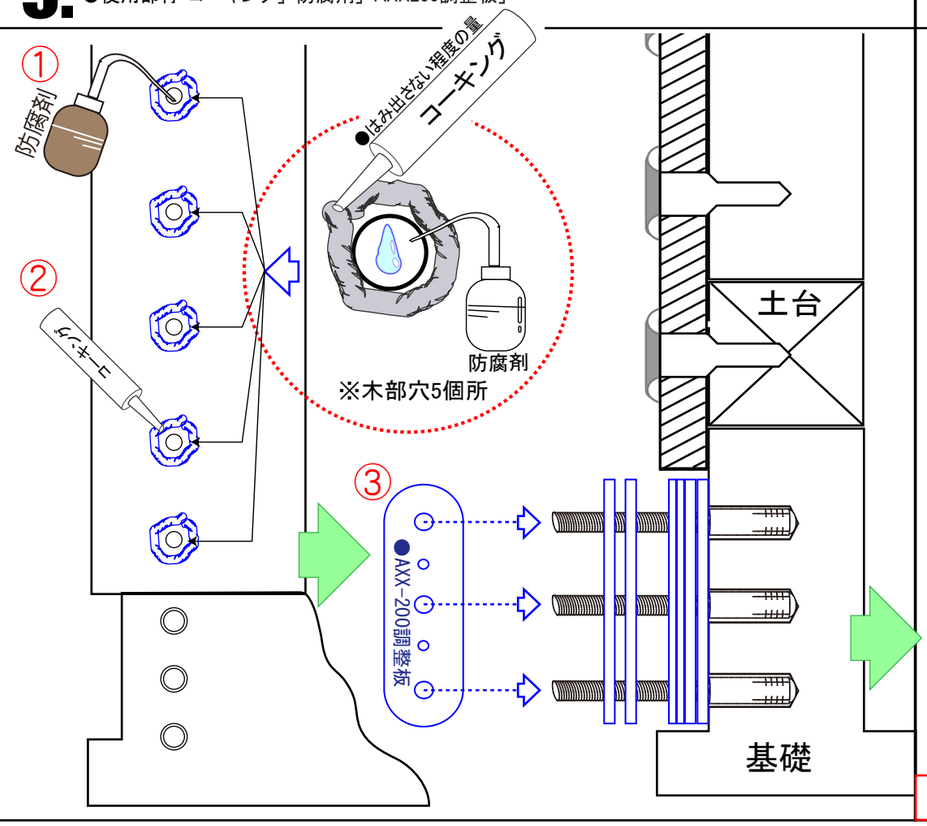
●使用部材「ボルトアンカー10MX120mm×3本」「ハンドホルダー10M用」
「大ハンマー」「清掃ブールブラシ10M」「エアーダスト」

●(厳守)作業手順



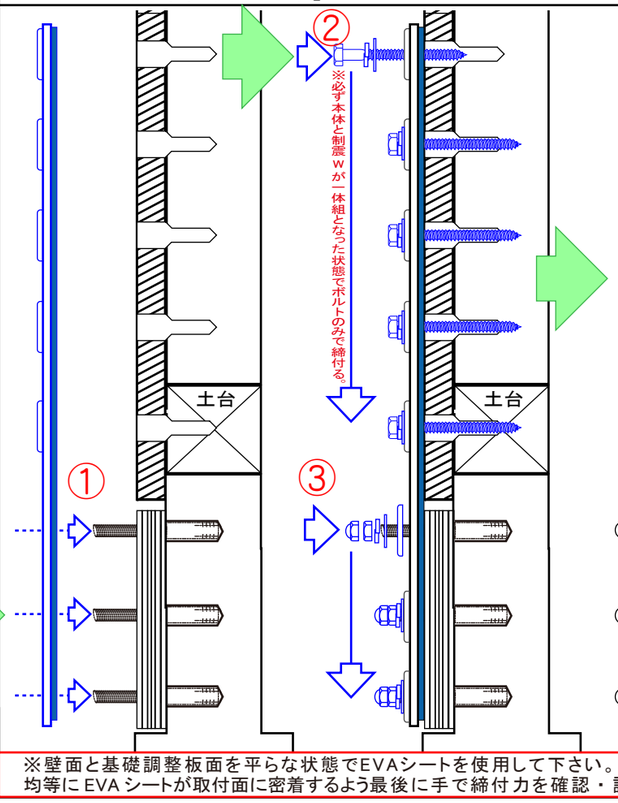
9.「柱」下穴　防水・防腐処理とAXX200スペーサー取付。

●使用部材「コーキング」「防腐剤」「AXX200調整板」



10.「AXX700本体」取付。

●使用部材「10M×125mmコーチボルト5本」「ボルトアンカー10MX120mm×3本」
「17Mソケット又はレンチ」



●完成

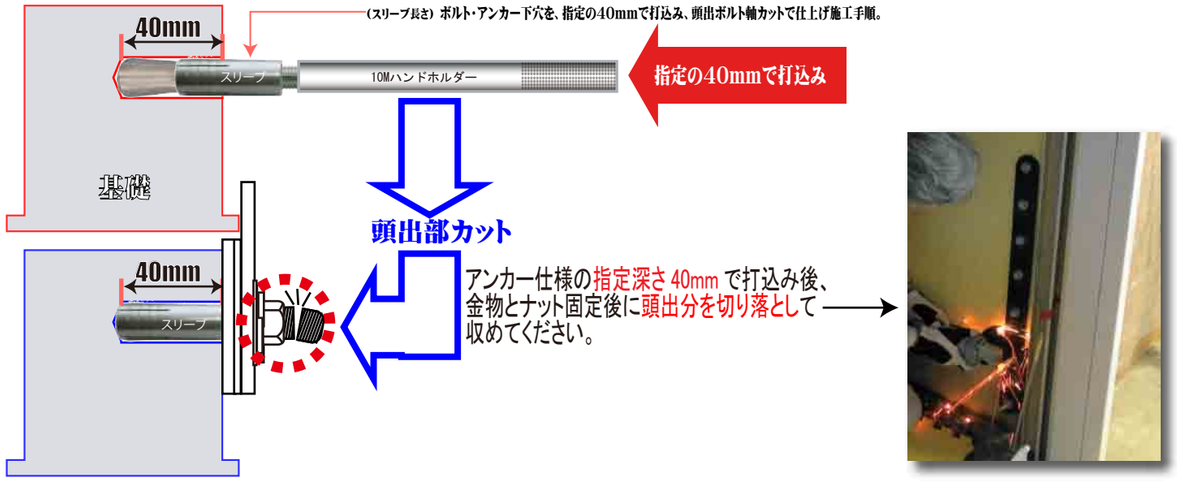
※最後に本体の汚れを落としてください。この作業を省略すると、後にソケット鉄粉等で錆が発生します。

(カバー取付は別紙参照)

※壁面と基礎調整板面を平らな状態でEVAシートを使用して下さい。
均等にEVAシートが取付面に密着するよう最後に手で締付力を確認・調整して下さい。

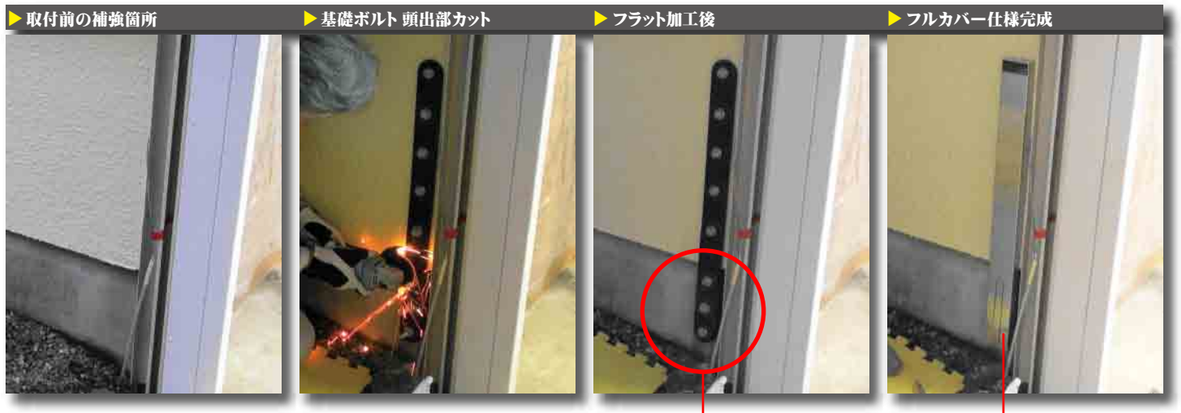
1. カット仕上げ

1. アンカーボルト指定打込み深さ固定。
40mm の下穴深さで施工する方法。
※この施工方法の場合、ボルト軸が基礎面から 0mm ～ 80mm 頭出し、生活する人への障害となることから、取付に必要な分のボルト軸を残し、サンダーでカットして仕上げる事になります。



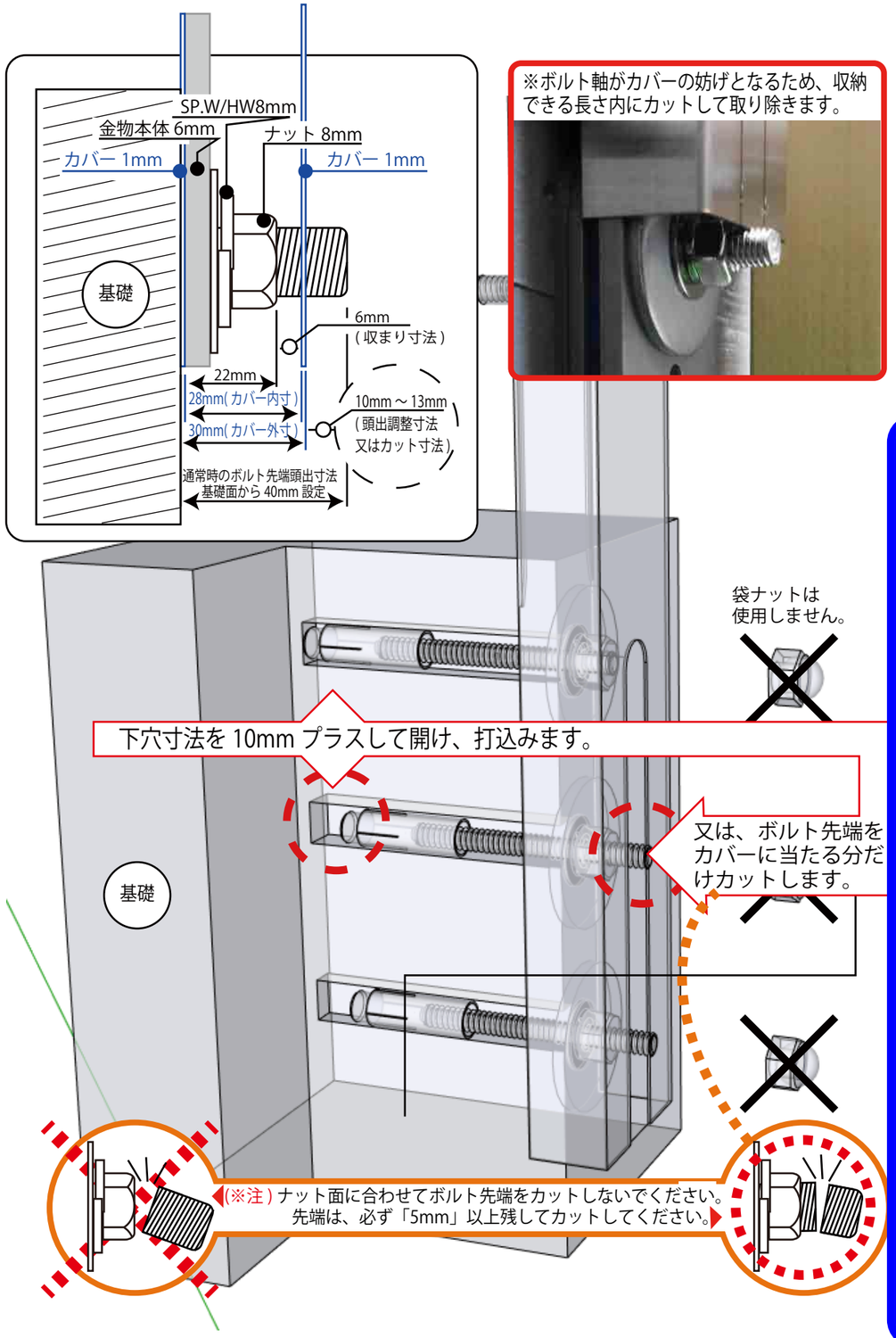
■フルカバー（ボルト隠し）アンカーボルトの仕上げについて。

■AXX700 本体とボルトすべてを隠す、フルカバー使用時のアンカーボルト加工。
金物全体を全てステンレスカバーで隠す仕上の場合、AXX700 をボルトアンカーで固定後、締付ナットから先の頭出しているボルト軸先端部をサンダー等でカットして下さい。
(※施工説明書を参考にして下さい。)※袋ナットは使用しません。



※ステンレス・カバーを全面隠しで使用する場合は、ナット締付寸法のみを残してカット。

■フルカバー（ボルト隠し）アンカーボルトの仕上げ



ボルト出デザイン

P.5
参照

■AXX-700試験成績数値及び金物仕様・説明　　資料作成日/追加/修正　2013年01月15日

■製品名:アクサ-700　金物用途　後付ホールダウン防止金物 <耐震対応・制震構造金物>

◇金物耐力数値について。

試験成績書は破壊力に対して金物本体がどれだけの耐力を備えているかを確認する為の単体引張強度試験結果になります。
この試験結果を基に制震構造の衝撃力緩和性能を加味した取付ボルト部材仕様です。

AXX-700の試験結果数値は、5箇所の衝撃力緩和システム「制震構造」(*剪断力緩和効果)を含まない試験結果数値です。
実際の衝撃力時には、[試験結果数値]に[剪断・衝撃力緩和]回避効果がプラスになります。

◆試験機関名

埼玉県産業技術総合センター　〒333－0844　住所　埼玉県川口市上青木3－12－18　電話048－265－1311

試験機器データベース詳細情報

油圧式万能材料試験機(300kN)

機器分類	強度試験機器		型番等	UH-F300KNI		
メーカー名	㈱島津製作所					
装置概要	金属材料をはじめとする各種材料の引張や圧縮、まげ試験などを効率よく確実に行う強度試験機。					
主な仕様	負荷容量:6kN～300kN(6段階)　試験速度:0.5～100mm/min　有効試験幅:500mm					

◆製品種別　本体耐荷重力結果数値 (平成14年～平成20年11月)

JANコード	品番	製品名/品種	材質/表面処理	本体引張耐荷重力数値
456028627-	*			
456028627-	*099	AXX-700SS30-U	(鉄/表面処理・ユニクロ鍍金)	62.1KN (本体N値11.7)
456028627-	*008	AXX-700SS30-B	(鉄/表面処理・カチオン電着鍍金)	62.1KN (本体N値11.7)
456028627-	*007	AXX-700SUS304-HL	(ステンレス/表面処理・ヘアライン仕上げ)	147.9KN (本体N値27.9)
本体サイズ外形全体/全品種共通			幅60×長さ700×板厚6	

◆取付部材仕様 / 固定耐力数値

用　途	⇒	基礎部材　↓	木部　↓
使用条件	⇒	コンクリート強度21N/mm²(210kgf/Cm²)	105mm角以上の柱材対象
ボルト種	⇒	スリーブ式 ボルトアンカー (キャップナット付)	六角コーチボルト
サイズ	⇒	10M×120mm	10M×125mm
材　質	⇒	SUS/ステンレス	SUS/ステンレス
埋込深さ	⇒	(壁の出を最大50mm調整した時)40mm～(無調整時)80mm	(外壁から)100mm (金物に約25mm使用)
剪断最大荷重	⇒	17.8KN/(1,820kgf)×3本=53.4KN/(5.460kgf) メ表記(部N値10.1)	剪断緩和見込耐力約1.500kgf(予測数値)
使用数	⇒	3本(N/W/SP.W/袋ナットset)	5本(W/SP.Wset)
固定耐力部材	⇒	大平ワッシャー 55×11×t4～t4.5 本体固定力+安定固定部材 (ボルト使用部 全8箇所採用)	

◎その他付属部材仕様

	制震ゴム	天然ゴム「NR」(シール付)外径30×穴径9×厚6	完全密閉仕様(制震・硬化対策)
	皿ボルト・ナットセット	施工時の本体と調整板の仮組用	8M×30mm

◆オプション製品1. AXX-200スキマ調整板 (*壁と基礎の段差解消プレート)4mm～50mm (2mm単位調整)

JANコード	品番	製品名/品種	材質/表面処理	サイズ
456028627-	*011	AXX-200SUS304-HL	(ステンレス/表面処理・ヘアライン仕上げ)	幅60×長さ200×板厚4
456028627-	*012	AXX-200SUS304-HL	(ステンレス/表面処理・ヘアライン仕上げ)	幅60×長さ200×板厚6
456028627-	*015	AXX-200SS-B	(鉄/表面処理・カチオン電着鍍金/黒)	幅60×長さ200×板厚4
456028627-	*016	AXX-200SS-B	(鉄/表面処理・カチオン電着鍍金/黒)	幅60×長さ200×板厚6
456028627-	*013	AXX-200SS-U	(鉄/表面処理・ユニクロ鍍金)	幅60×長さ200×板厚4
456028627-	*014	AXX-200SS-U	(鉄/表面処理・ユニクロ鍍金)	幅60×長さ200×板厚6

◆オプション製品2. 本体保護ステンレスカバー

456028627-	*010	SUS304-HLカバー	(ステンレス/表面処理・ヘアライン仕上げ)	長さ705×幅65×奥行30×板厚1
		外壁取付用EVAシート	EVA(5倍)発泡体(青) 1枚 (カバー採用時に付属)	長さ695×幅55×厚5

◆その他

●施工仕様書	※別紙詳細説明書あり	●試験成績書	※別紙詳細説明書あり
●製品カタログ	※別紙詳細説明書あり	●施工例写真	※別紙詳細説明書あり

【お問い合わせ】 シナプス・インターナショナルcompany.,
■本　社　〒331-0052 埼玉県さいたま市西区三橋5-2023-6　● 電話:048-625-7406 ● FAX:048-625-7379

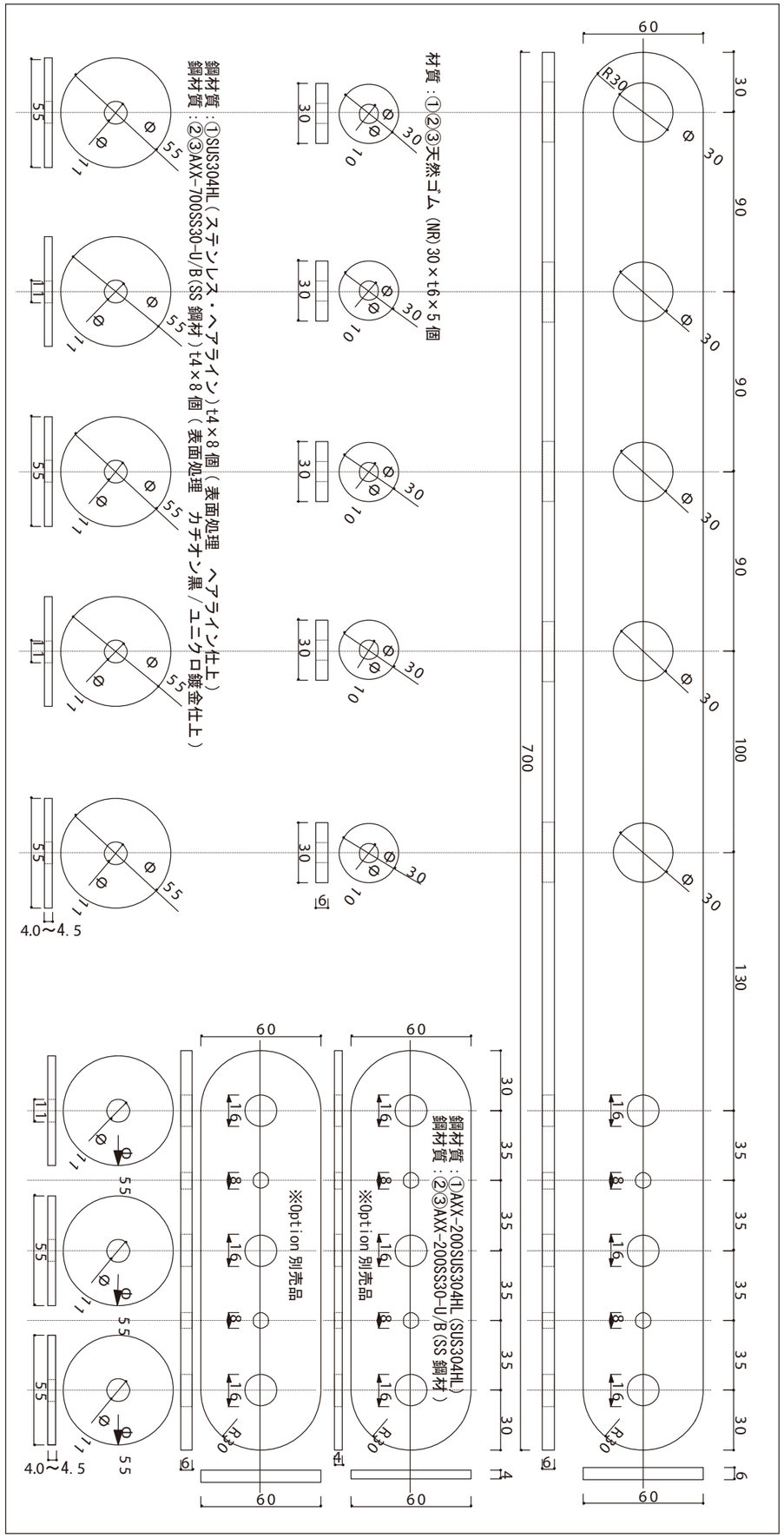
製品名 :①　AXX-700SUS304HL(ステンレス・ヘアライン製品)
製品名 :②③　AXX-700SS30-U/B(スチール製品)

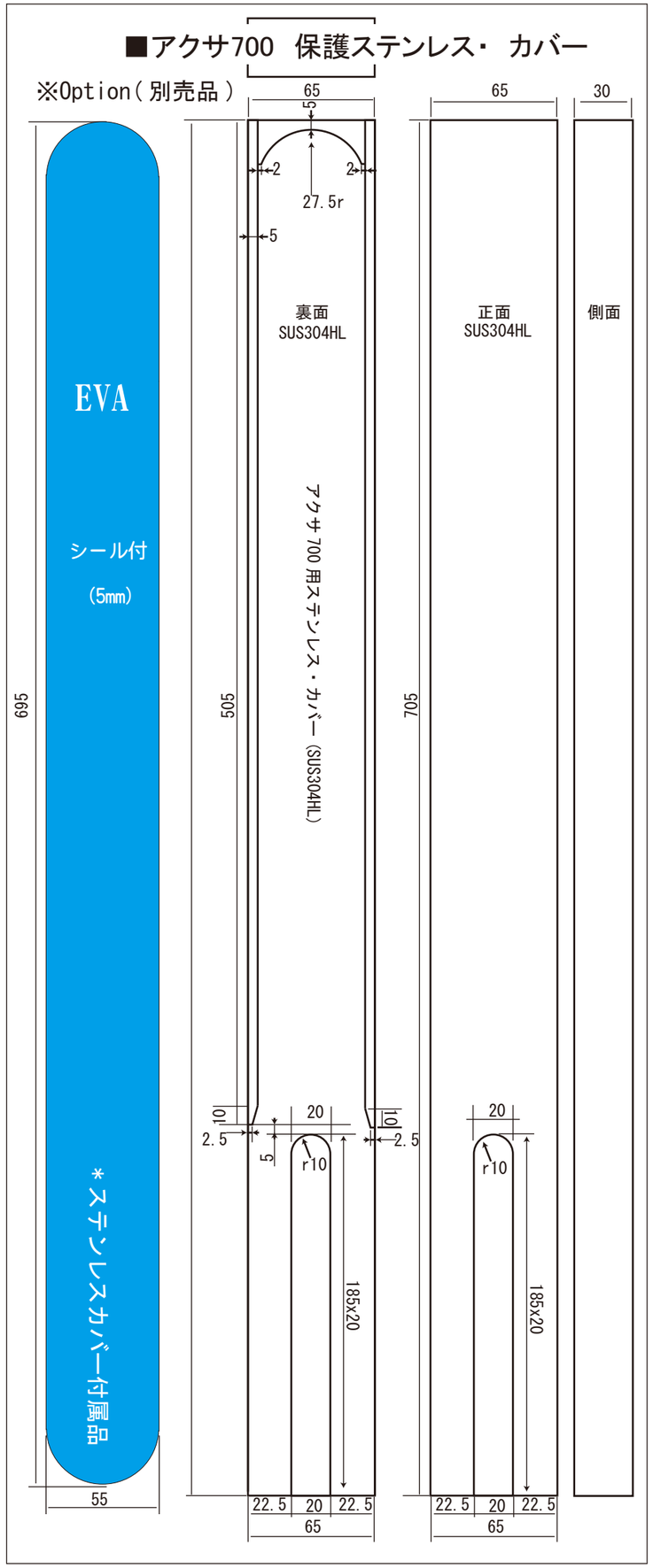
製品名	①AXX-700 (アクサ700) SUS304/HL ②SS30-U ③SS30-B	本体鋼材材質	①SUS304HL
製品NO.	①456028627-007 ②456028627-099 ③456028627-008	本体鋼材材質	②③SS(鉄)
特許登録番号	特許第4285703号	表面処理	①ヘアライン仕上
作図年月日	2009年5月21日	表面処理	②ユニクロ
		表面処理	③カチオン電着
製造元会社名	シナプスインターナショナル company.,	金物耐震仕様	制震構造金物

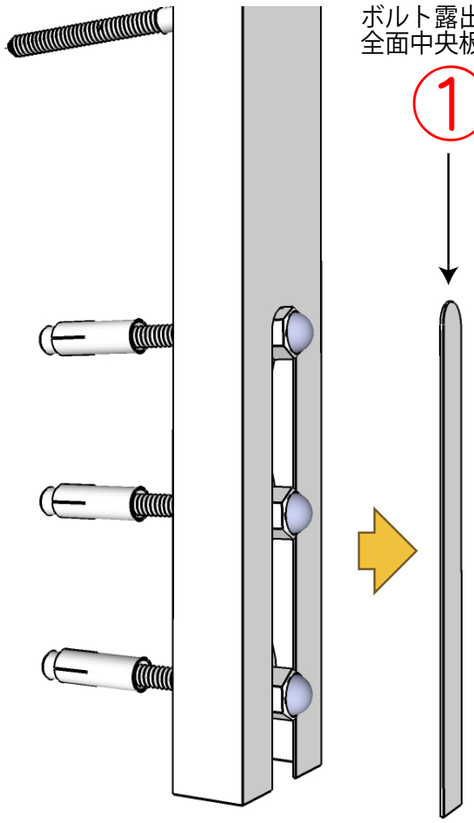
	付属取付部材	部材名	サイズ	材質	数	備考
1	コーチボルト		10Mx125mm	SUS	5	((Inspection Certifcate))有り
2	平ワッシャー		10Mx25x1.5	SUS	5	大外径使用
3	SPワッシャー		10M	SUS	5	
4	制震格納ワッシャー		55x11xt4～5	①SUS②③SS	8	本体固定用/制震構造構成用
5	制震ゴム		30x10x6	天然ゴム(NR)	5	シール付
6	スリーブアンカー		10MX120mm	SUS	3	下穴深さ40mm～80mm調整用
7	キャップナット		10M	SUS	3	ボルト先端露出の安全対策

オプション「別売」	部材名	サイズ	材質	数	
456028627-010	ステンレス・カバー	705×65×30	SUS-HL t1	1	上部からの差込スライド固定式
付属品	EVA5倍発泡ウレタンシート	695×55×t5	EVA 硬さ5倍	1	壁と金物背面の中間緩和密着部材
456028627-011/13/15	AXX-200隙間調整プレート	60×200×t4	SUS・HL/SSB/SSU	1	4mmから2mm単位調整最大50mm
456028627-012/14/16	AXX-200隙間調整プレート	60×200×t6	SUS・HL/SSB/SSU	1	4mmから2mm単位調整最大50mm

◇製品仕様について。　製品及び仕様は、より優れた製品を目的に改良と変更が予告なく加えられます。

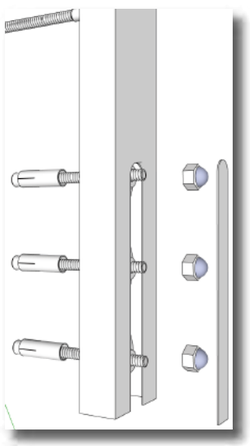




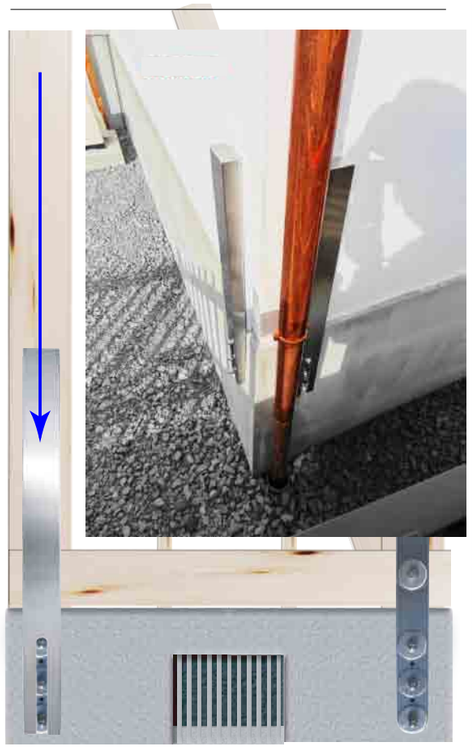


ボルト露出デザインカバー仕様
全面中央板を取除いてください。

①



●カバー・スライド固定式



[取付完成図]

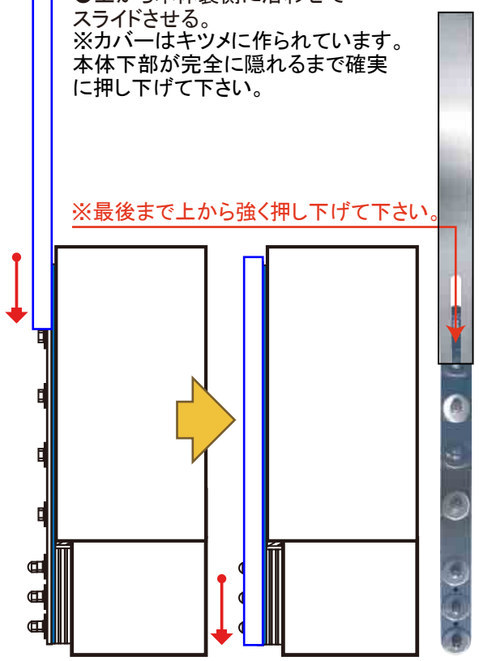
●カバー取付手順。

②

③

●上から本体裏側に沿わせて
スライドさせる。
※カバーはキツメに作られています。
本体下部が完全に隠れるまで確実
に押し下げて下さい。

※最後まで上から強く押し下げて下さい。

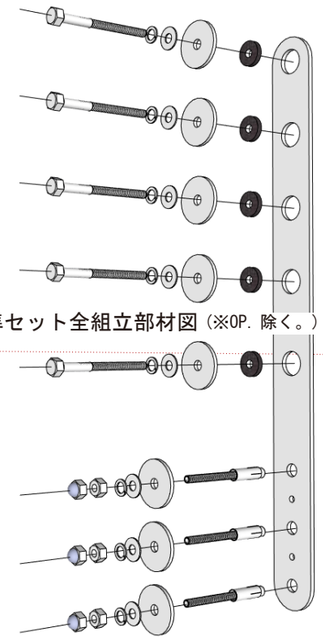


箱開封後、 すぐに製品と付属品をご確認下さい。

欠品・不良品等が有りましたら速やかにご購入先にご連絡下さい。

製品取付・施工前に全項目を必ずご確認下さい。

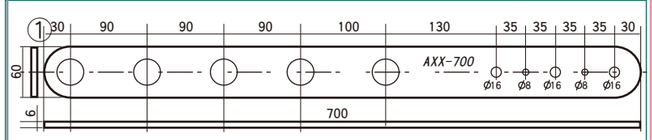
●OP. と標準セット全組立



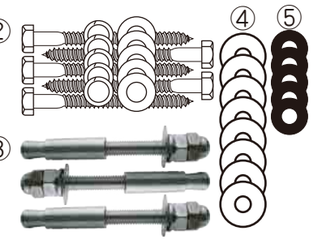
●標準セット全組立部材図 (※OP. 除く。)

1セット・部材リスト:(SUS304HL)(SS30-B)(SS30-U)

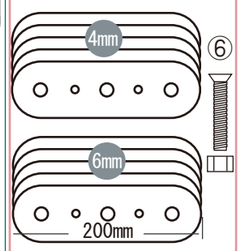
※Option(別売品)



①本体プレート×1枚
② (SUS304) コーチボルト10MX125mm/5本
● (SUS304) 平ワッシャー×5個
● (SUS304) スプリングW×5個
③ (SUS304) ボルトアンカー10MX120mm×3本
● (SUS304) 袋ナット×3個
● (SUS304) ナット×3個
● (SUS304) 平ワッシャー×3個
● (SUS304) スプリングW×3個
④キャップW　外径55mm/8枚
⑤制震ゴムリング×5枚
⑥調整板仮止用皿ネジボルトナット1セット



●アクサ200(調整板)
※壁と基礎の段差を解消。
※補強箇所の壁と基礎段差を事前確認しご用意下さい。



(10枚セット)
4mm/6mm各5枚(50mm)

●OP. 専用工具　10Mアンカー用ハンド・ホルダー
※先端・ストレートタイプを使用します。

(※別売品　スリーブ打込工具)

●使用工具・材料
・締付工具:17Mボックス・レンチ
・コンクリートドリル:14.5M/8M/10.5M～11M
・木工ドリル:5.5M/6.0M　(ショート/ロング)
・シリコン・コーキング(外壁用.塗装可能品)
・防腐剤/その他

※本製品取扱い上のご注意
・製品加工箇所によるケガにご注意下さい。
・本製品は木造軸組補強用金物です。それ以外の目的に使用しないで下さい。
・付属部材以外のご使用、本体改造等は絶対に行わないで下さい。
・部材仕様・形状は性能向上のため予告無く変更する場合があります。

■金物耐力数値(本体耐荷重)

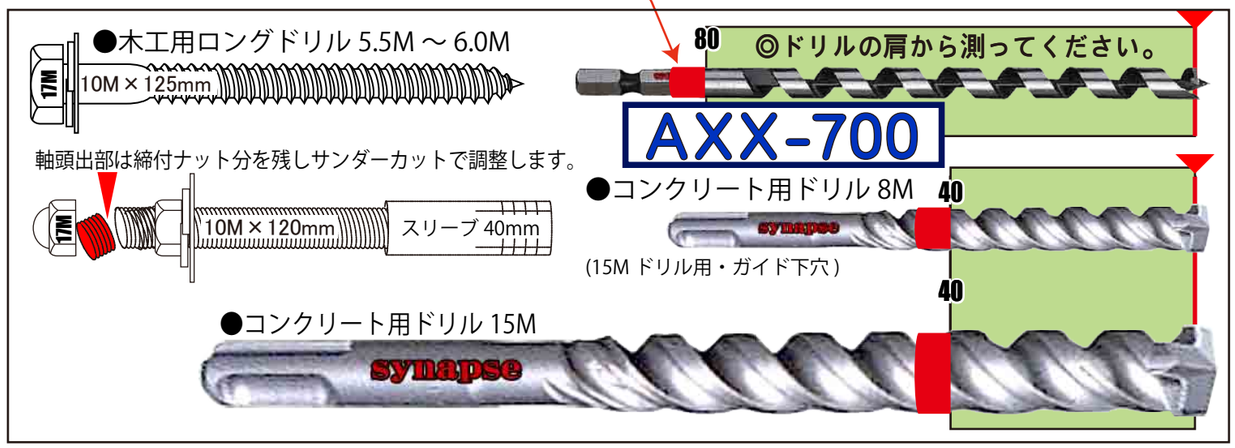
◆引張耐荷重力62.1KN(30ユニクロ)
◆引張耐荷重力62.1KN(30カチオン)
◆引張耐荷重力147.9KN(SUS304HL)

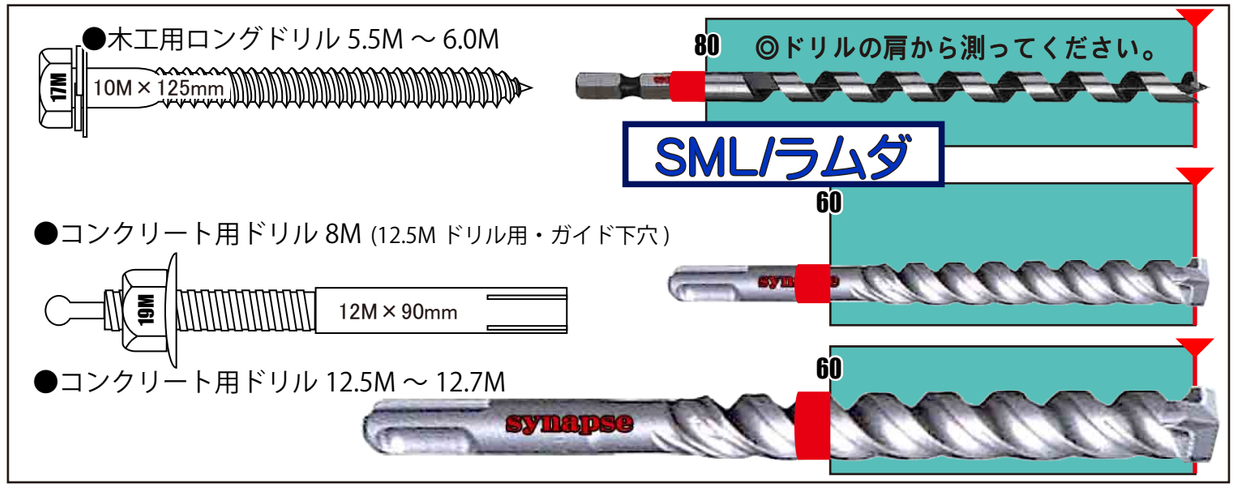
埼玉県工業技術試験場試験数値
1ホール破壊　・　限界測定数値
2002年12月/2005年5月/2018年01月

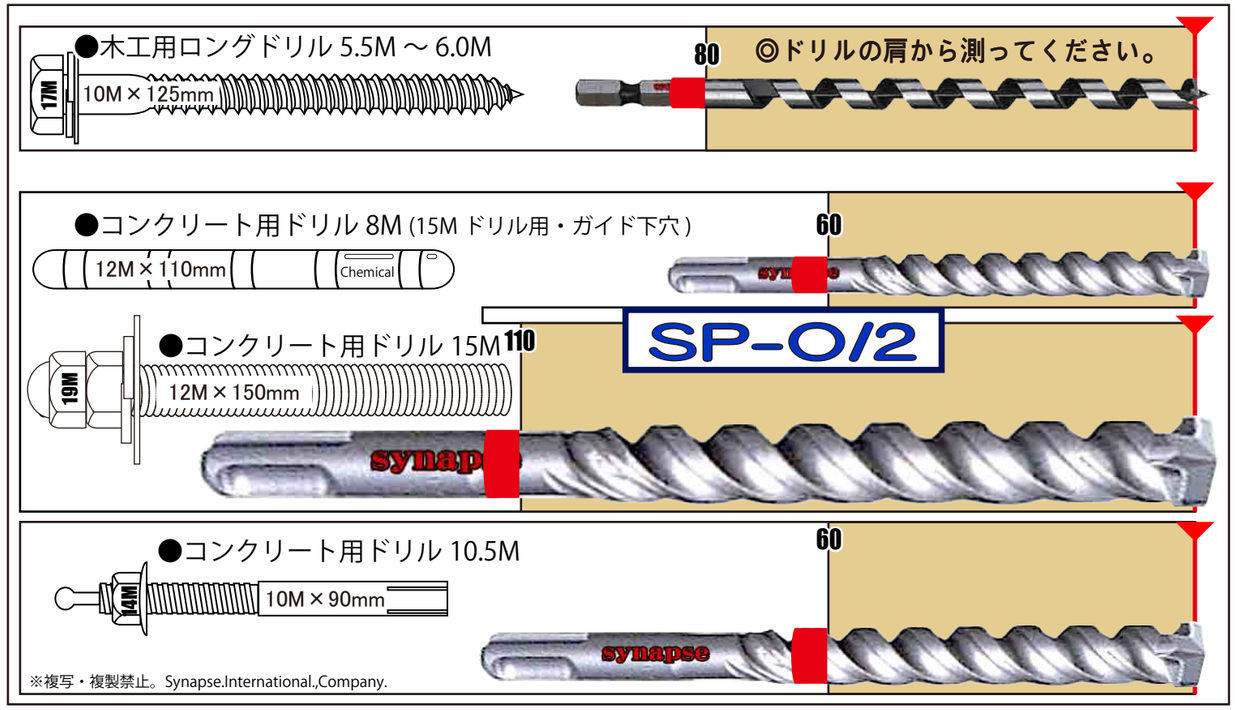
製造・発売元
シナプス・インターナショナル　company.
http://www.synapsejp.com/　2024/01/01

ドリル下穴寸法印図

※センターズレ防止にテトラビットをお勧めします。
●ドリルを図の実寸に合わせ印をしてください。





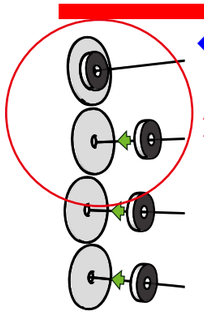


※複写・複製禁止。Synapse.International.,Company.

※施工前にご確認ください※

AXX700

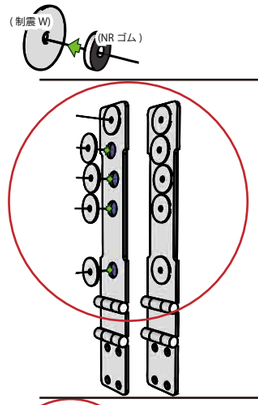
作業に入る前に必ずお読みの上実施願います。
※注 【厳守】願います !!



◆対象金物 「AXX700」 「ラムダ」 「SML ラムダ」

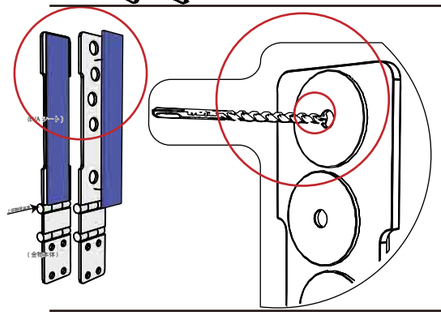
先にワッシャー裏面に 「ゴムを貼り付け」 てください。

制振性能を果たすための重要な部分パーツです
ワッシャーとゴムの一体構成でボルト頭部剪断回避効果が発揮されます。



取付作業前に 「制振ワッシャーを本体に組込んで」 ください。

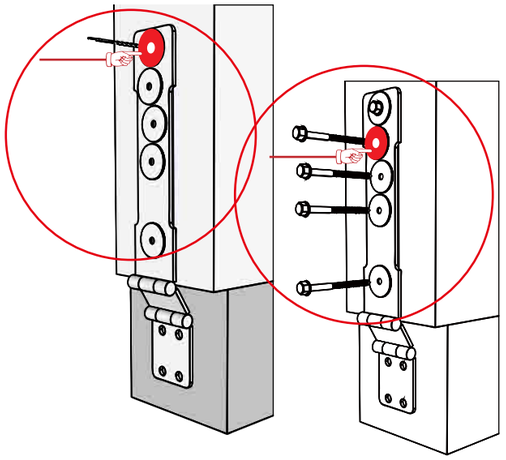
施工時の切削紛や木くずが制振構造内に付着し
制振性能低下の要因になります。



壁穴あけ作業前に
「EVA シート 5 箇所に 8M 以内の穴」
を木工ドリルで先に空けてください。

直接コーチボルトを穴の無い EVA に打ち込むと、
ボルトが EVA を巻き込んでしまいます。

防水効果の低下
建物内への風雨侵入



コーチボルト下穴作業時とボルト締付時は、ワッシャーが浮き上がらないように本体金物に指で押し付けながら締付作業を行ってください。

W が浮き上がり切削粉が制振構造内に付着し、 制振性能が低下、 又は機能しなくなる可能性があります。

制振システム効果を FULL に発揮させるための厳守事項になります。
施工時に必ず実施して戴けますようお願いいたします。

2025.01.01 SYNAPSEJP

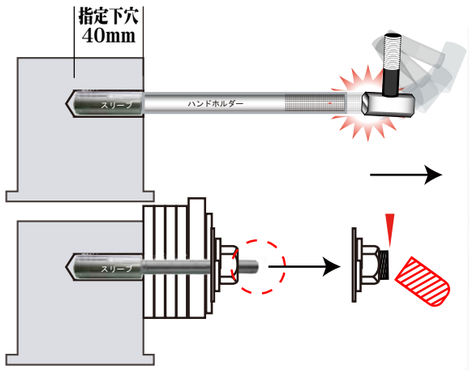
推進施工方法

1. アンカーボルト製品の指定打込み深さ固定。

製品指定下穴 40mm の下穴深さで施工する方法。
※この施工方法の場合、ボルト軸が基礎面から 0mm ～ 80mm 頭出し、生活する人への障害となることから、取付に必要な分のボルト軸を残し、サンダーでカットして仕上げる事になります。

※カット口を袋ナットで仕上げる場合は
袋ナット締付ネジ部（5mm 程度）を残してください。

※ステンレス・カバーを全面隠しで使用する場合は、
ナット締付寸法のみを残してカットします。



■アンカーボルトの仕上げについて。

■AXX700 本体をフルカバーする場合の追加加工
金物全体を全てステンレスカバーに収める仕上の場合、AXX700 をボルトアンカーで固定後、締付ナットから先、頭出しているボルト軸先端部分をサンダーでカットして下さい。
(※施工説明書を参考にして下さい。)※袋ナットは使用しません。

▶取付前の補強箇所

▶基礎ボルト 頭出部カット

▶フラット加工後

▶フルカバー仕様完成

※カバーなし仕様の場合は、必ず袋ナットで仕上げてください。
※ステンレス・カバーを全面隠しで使用する場合は、ナット締付寸法のみを残してカット。